

研究会のお知らせ

## 「文化財の放射線対策に関する研究会」

平成23年3月の東日本大震災の際の福島県の原子力発電所の事故により、大量の放射性物質が排出されました。そのため、放射線被害の現状把握および除染技術など様々な分野で、検討が進められております。福島県の文化財施設および屋外の文化財なども、放射線の影響を受けております。文化財施設や文化財の放射線被害の現状把握としての、調査手法、移動方法、除染方法等を検討する必要があります。また、今回の災害が実際に発生したことを認識して、今後の対策を立てておく必要があると考えられます。

今回は、除染に関する分かりやすいマニュアルを監修されている放射化学の専門の東京大学桧垣正吾先生、実際に福島県で、震災後の対応をされてきた福島県立美術館学芸課長の伊藤匡氏を招聘致しまして下記研究会を企画しました。ご興味のある方は是非ご参加下さい。なお、参加ご希望の方は、お手数ですが、下記の担当までFAXでご連絡お願い致します。参加資格は、博物館・美術館にお勤めの方とさせていただきます。

### プログラム

日時：平成26年2月12日（水）13：30～17：00

場所：東京文化財研究所、会議室

- 1) 開会挨拶・研究会の趣旨説明（13:30-13:45）

東京文化財研究所 石崎武志

- 2) 除染に関する基本的な考え方（13:45-14:30）

東京大学 桧垣正吾

- 3) 福島県立美術館での放射線対策について（14:30-15:00）

福島県立美術館 伊藤匡

（休憩）（15:00-15:15）

- 4) 放射線量の測定方法、環境評価等に関するWG1活動報告（15:15-15:45）

東京文化財研究所保存修復科学センター 佐野千絵

- 5) 除染方法等に関するWG2活動報告（15:45-16:15）

東京文化財研究所保存修復科学センター 佐野千絵、北野信彦

- 5) 総合討論

（16:15-17:00）

### 担当

〒110-8713 東京都台東区上野公園 13-43

独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所

副所長石崎武志、保存修復科学センター保存科学研究室長佐野千絵

FAX: 03-3822-3247

# 文化財の放射線対策に関する研究会

## 参加申込用紙

お名前： \_\_\_\_\_

ご所属： \_\_\_\_\_

勤務先住所： 〒 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

電話番号： \_\_\_\_\_

FAX番号： \_\_\_\_\_

e-mail： \_\_\_\_\_

平成26年2月3日(月)までに、FAXにてご返送ください  
席数に限りがあり、ご希望に添えない場合もございますのでご容赦ください

〒110-8713 台東区上野公園13-43 東京文化財研究所

保存修復科学センター保存科学研究室行

FAX:03-3822-3247